

知多市教育委員会と知教労との話し合いまとめ

知多市教育委員会

教育長(二長) 永井清司
 指導主事(二主) 大西博
 学校教育課(二事) 山本泉

知多地方教職員労働組合(=組)

副委員長 岩澤弘之
 会計 中沢晶子
 書記長 岡崎良久

1 勤務時間指針の遵守について

(1) 中学校の部活動について

組 昨年より軽減措置は増えたか。

主 大会近くでも始業時間前と5時半以降は、5中学校ともやっていない。

組 R5年度～R7年度の地域移行に向けての計画の進捗状況はどうか。

主 地域移行の担当者の打ち合わせは始まった。まずは地域に中学の部活を5年度から移行することを知ってもらう。

長 県からも何も出てきていないので、教育長会等でもきちっと示すよう話している。国が言っているスケジュールで進められるとはとても思えない。

組 部活を教員がやってきたのを切り離す形できて、兼職兼業だと労働時間は減ったことにされてしまう。

長 やりたい人は一住民としてやればよい。たまたまその人が教員だというだけだ。兼職兼業でお金をもらうことになるから財政的な裏打ちが無いと支払えない。

組 土日半日は守れているか。

長 半日は守れているが、超過時間が45時間とか出てくるなら休日に中止してもらわないと困るとい話はしている。

(2) 在校時間記録の正確性について

組 まだ2校エクセル表で、コピペがあった。

主 C4thを使うよう校長会で言っている。

組 阿久比と常滑はC4thで職員が自分で休憩時間を計上できる。教頭に申し出る方式は、実態と乖離する形になる。

主 持ち帰って部長とも話しあってみる。

組 勤務校は教頭が月の半ばで超過時間を減らすよう指導している。他校はどうか。

主 教頭に月末だけ見るのではなく、月の途中で見て声をかけなさいと話している。

組 市のセンターサーバー化にもなると複数月に渡る個人的な把握もできると思う。

事 これから業者との調整でどこまでの範囲を見え

るようにするのかを進めていく。

組 土日出勤の計上が少ない。6月に中学校で4人のところもある。小学校では佐布里とつつじだけで後は皆0になっている。

主 きちんと計上するようにと伝えているし、また伝えておく。

組 職員が倒れたときに責任を問われるのが校長。正確な時間管理ができるような条件を作ることが管理職のためにも必要。

主 より正確な記録ができるよう、C4thとも相談していきたい。

組 懇談会の日とか休憩時間の設定がない。休憩は労働基準法が一番大事なところ。

主 職員会議などでは休憩時間でいったん閉じること、割振りに関しても校長には伝えてある。

組 成績処理期間に授業短縮するのはどうか。

主 学期末や成績処理の時に授業短縮を各校で工夫をしてやって良いと伝えてある。

組 A中の校長は林間学校中の勤務時間が3日間8:15～16:45になっている。林間学校に引率した土日が休日のままの記録の学校もある。

長 報告するためにやってもらっているのではないと、今日の校長会でも言っている。

組 毎年、きちんとやっている印象が強い。

主 意識は同じ。正確につけるのは保険にもなるので、今後も言い続ける。

(3) 業務量の削減について

組 業務改善の計画は部活以外にはあるか。

事 中学校の採点ソフト、会議でのペーパーレス化、校内サーバーを管理する負担削除など、校務でのICT化・市のサーバー化で先生の負担を減らしていきたい。

組 ICT機器を欠席連絡などに使ったりできるようになるのか。

事 12月末までに保護者への案内をし、来年度4月から全校が使うことになる。

組 L-gateの導入目的は何か。知多市の子どものデータをビッグデータとして使い放題ということに

なる。文科省は我々の研修履歴まで子どものデータと紐付ける予定だ。

事 国のメクビットというシステムに入るために導入した。個人を紐付ける情報をもたないという説明があった。

主 全国学テも英語をそこを通してやるということなので、入れないわけにはいかない。

組 タブレットの持ち帰りをしているが、いじめなどに通じる問題はどうか。

主 大きな問題は起きていない。

組 生徒指導主任が校長に、朝立哨するように言われたことがあった。

主 割振りがないのなら、校長はどう捉えているのかと思う。

組 補導の対応についてはどうか。

主 補導されたときは夜間は保護者に連絡が行く。緊急時に対応せざるを得ないときには教員が入る場合もある。

長 それほど件数はない。

組 地域ボランティアとの連絡調整についてはどうか。

長 常滑半田はもう全校で行っている。知多市でも増えるよう進めたい。南粕谷小は草刈りに来てもらっている。

組 担任を兼務する校務主任が増えてきているので、修理など専門の方が学校を順に回るようにしていただきたい。

主 予算をお願いしている。

組 今現在市内で欠員はどうか。

主 4月ですぐに講師が見つかり、現在は1中学校2人になった。教務主任や教頭が分担しながら回しており、健康に気をつけるようにと伝えてある。

組 業務削減の見直しを職員みんなで考えることはしているのか。

主 考えなさいと教頭会で言っていて、進んでいると思う。

組 学校訪問が勤務の負担になっている面がある。

長 学校訪問は日頃の授業でいい。どの授業にも真剣に対応してくれていると思っている。その中で、どの子どもがどのように反応し、それに対してどう対応するのか等を指導案に整え実践する1時間の授業を1年に1回くらい真剣に考えてほしい。整理整頓なども気になる。

組 学校訪問要項にある教科指導に関すること以外の部分が軽んじられていないか。

長 年間計画、教育課程が考えられて実際にやっているのか当然点検している。学校訪問は必要だと思う。

組 若あゆ日記の編集は年3回かなりの人数が自習などさせて作っている。リープ、知多の友などを続けるのは勤務負担になる。

長 子どもの作品も出て活躍できる子もいる。意見として伺っておく。

2 憲法・人権尊重、教育環境の改善について

(1) 少人数学級の推進について

組 少人数学級の推進は機会あるごとに訴えているか。

長 尾張の教育長会で、愛知県の1年先取りを続け、中学校も早くやるよう強く要望している。

(2) 再任用ハーフの2人担任等について

組 再任用ハーフの2人担任はないか。

長 県が定数にハーフ2人で1人分とするのでやむを得ないことが出てくる。県には再任用を定数内で組むなど言っている。

(3) ジェンダーについて

組 男女混合名簿についてはどうか。

主 切り替えていくという指示をするには至っていない。

組 ジェンダーは教育課程の中でも生徒と一緒に考えることになっている。学校の先生達の方が遅れているということが出てくる。

組 制服の選定はできれば生徒の自治能力を高めるために活用できるとよい。

長 そのように活用してもらいたい。制服はどのようにするかも含めて検討していきたい。保護者の負担も考えたい。

3 その他の改善について。

(1) 特定事業主行動計画について

組 県費負担教員は市町村で管理しないといけないと国が書いている。

主 確認してみる。

(2) 就学時健診について

組 就学時健診は、入学前なので本来教諭の仕事ではないし、業務も減らせる。

主 伝えておく。

いつも真摯に答弁していただき感謝します。